

折尾駅東口『仮改札口』は、現在の「トイレ」の位置になると、平成22年9月発表！！

折尾のシンボル、『折尾駅舎』を保存活用しよう！！

提 案

「折尾駅舎の中央部分」を、『曳き家』で移動して、「仮改札口」として活用する。
「仮改札口」で活用後、**両翼を増築**し、当初の『立体交差駅の形』にして保存活用する。



現 状

折尾駅舎は、線路高架事業のため、平成22年秋以降に取り壊し予定。
北九州市と地元組織が提示する「南口駅前広場案」は、『駅舎全体を解体』して約10年後、『レプリカで再築』するために、下記の部材をのみを保管する。

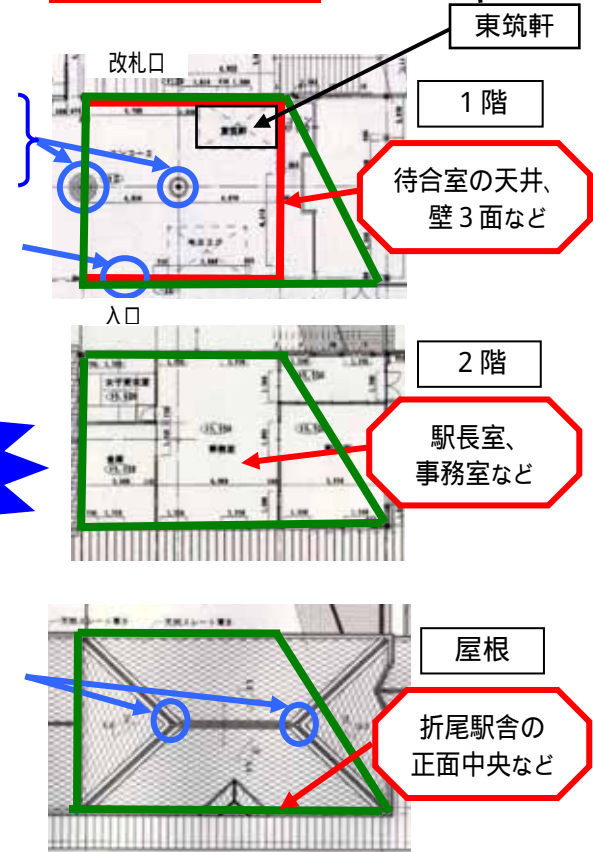
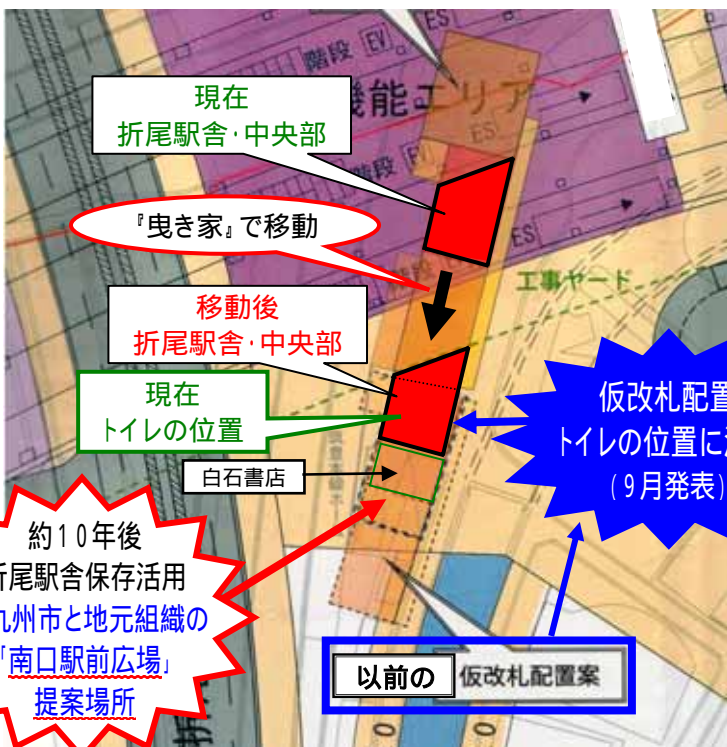
保管部材： 待合室木製ベンチ 待合室化粧柱・柱補強飾り
待合室格子天井 開口部廻りの装飾 屋根棟飾り

「立体交差駅の形」
「折尾駅」は、『日本最古の立体交差駅』。
左右対称でない、アンバランスな駅舎の形こそが「立体交差駅」であることを証明。『日本唯一』。
・筑豊本線の間側が1階建。
・鹿児島本線に隣接する側が2階建。
都道府県レベルの「有形文化財」の価値があると、土木学会や学識者は評価。



メリット

『折尾駅舎の中央部』を、保存活用した場合
折尾のシンボル、『折尾駅舎』として保存活用できる。
『曳き家』で移動するため、解体・再築が不要になる。
様々な部材を、現状のまま（本物）で保存活用できる。
『曳き家』での移動費は、約3千万円（当会調べ）。
「南口駅前広場案」（2億2千万円）よりも、**大幅な経費削減**になる。



「駅前広場」の名称変更
現在の「折尾駅舎」のある『東口駅前広場』は、開発後『南口駅前広場』になる。

「歴史遺産『北九州市レトロ』を創る会」 <http://homepage3.nifty.com/orio/> 検索「折尾レトロ」 090-2710-6810
もし、このチラシがあなたの手元に2部以上届いたら次はあなたが誰かに届けて！道路に落ちていたら拾ってあげてください